

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社マリーズハウス	事業所番号	4111100329
住 所	佐賀県鳥栖市下野町 2 3 5 5	管理者名	松尾 一史
電話番号	0 9 4 2 - 8 5 - 9 2 3 1	対象年度	令和 4 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>令和 4 年 1 2 月 1 日～3 月 3 1 日において、佐賀県立鳥栖商業高校において、だしパックの商品開発を実施した。</p> <p>同活動には、しいたけ生産事業 2 7 名の利用者が携わり、各イベントに出店し販売キャンペーン等実施した。</p> <p>粉末にした干し椎茸とアゴをブレンドし、袋詰めし、パッケージにラベル貼りを行った。ラベルデザインは学生に依頼したものを採用した。</p>	<p><活動の様子></p>  <p>新商品「出汁らぶ」 「出汁らぶ」販促用POP作成の様子</p>
<p><目的></p> <p>若者の障害者福祉への興味関心を高め、地元特産品を活用した商品開発、当社利用者とのふれあいの機会を創設した。</p> <p>携わった学生とその家族や友人知人に周知することができ、広く活動効果を得る事が出来た。社会貢献、教育、生産活動において地域に役立つ活動ができた。</p>	 <p>「出汁らぶ」展示販売会の様子 さが*ひな市での販売</p>
<p><成果></p> <p>上記活動を実施した結果、学生ならではのアイデアや発想により、個性的でオリジナリティ溢れる新商品を開発する事が出来た。</p> <p>これまで商品を手にとらなかった消費者にも、手に取ってもらえるような商品を生み出すことができ、社内においても新商品開発の経験を積む事が出来た。</p> <p>品質、生産コスト、生産加工過程での効率化、販路開拓について課題点となった。</p>	<p>成果物の販売実習まで鳥栖商業高校各学科が得意分野で商品開発に取り組み、展示販売会や販売実習を行った。</p> <p>生徒にとっては企業とコラボする企画は大変貴重な経験となった。</p>  <p>販売実習中の生徒</p>

連携先の企業等の意見または評価

12月にオーダーを受け、本校情報管理科 3 年生「電子商取引」および流通経済科「商品開発」の授業においてパッケージデザインチームを編成し、16点の提案を行った。

コロナ禍で様々な活動が制限されるなか、地域・企業とのつながりは本校の魅力づくりに欠かせないものであり、様々な店舗で実売される商品のパッケージデザインに取り組むことで、貴重な経験を得ることができた。

企業様のオーダーに耳を傾け、担当者の意見を伺いながら修正をしていく作業はまさに商業高校での実学であり、生徒のコミュニケーション能力向上、デザインスキルの向上のみならずスケジュール管理等のスキルを習得できた。

今後の関係のありかたとしては、商品開発のみならず販売実習をはじめ、財務的な観点からも様々な提案ができるような産学官連携のシステム作りを目指したい。

連携先企業名	佐賀県立鳥栖商業高等学校	担当者名	田原
--------	--------------	------	----